

平成16年度 協働モデル事業 応募団体一覧表

	団体名	金額
提 案 の 概 要		
1	(特)しずおか環境教育研究会	497,700
<p>『竹害に悩む放置竹林対策』 竹だけの単一植生となって豊かな自然が失われてしまった。また、県都静岡市の景観として放置竹林はふさわしくない。谷津山南側地域にある隣接する住宅地や耕作地に害をなす放置竹林を年5回伐採する。 当会は、県内屈指の自然体験活動のグループであり、数々の実績と、自然観察の指導員や竹や木の実細工等の指導、野外での野遊びなどの指導も得意としている。さらに数年前より植樹・里山保全活動も行なっており、自然体験活動のどのような要求にも答えることができる。 竹林管理技術・理論は静岡県竹プロジェクト協会から、竹林伐採技術は草薙の里・遊森民から支援を受ける。行政には竹林の長期的・将来的な構想の立案をお願いしたい。</p>		
2	(特)しずおか環境教育研究会	352,800
<p>『里山保全管理者(里山インストラクター)養成講座』 子供たちへの自然体験活動を通じた環境教育は持続可能な経済社会を実現するために絶対に必要である。身近なところで自然体験活動を行なう場所(里山)がないので、これを保全整備し、自然体験活動を指導できる人を養成する必要がある。 奥山としての井川少年自然の家と里山を場とする里山インストラクターがタイアップして環境教育を実施すべきであると考え。 講義と実技を交えた里山インストラクター養成講座を4回シリーズで実施、20人養成する。3月には、当法人独自の事業として自然体験活動を実施する。 当会は、県内屈指の自然体験活動のグループであり、数々の実績と、自然観察の指導員や竹や木の実細工等の指導、野外での野遊びなどの指導も得意としている。さらに数年前より植樹・里山保全活動も行なっており、自然体験活動のどのような要求にも答えることができる。</p>		
3	静岡市民総目利き化推進委員会	489,230
<p>『Hello Mission Network』 この事業は協働について具体的に市民・行政に働きかける仕組みを構築することで、“他力依存型”ではなく“自立双方向型”の関係の形成をめざす。 市民と行政双方の活動・能力・ニーズ等を視覚的に認識できるシステムを構築し、インターネット上で『Hello Misson』サイトとして公開する。これは、行政を“募集者”、市民活動を“求職者”と仮想した八口ワーク的な存在である。また、説明会を兼ねて基調講演会を実施し、参加者を募る。 市役所全課及び市内NPO等(希望者)の登録/行政からの協働の働きかけに対する最低一つの市民提案または意見/期間内に最低一つの協働の実現を目標とする。 当委員会は人材の育成と、現在活動に携わる人への支援を目的とした活動を行なっている。「自転車とまちづくりフォーラム2004」への支援や「来・て・こ」との共催事業等の実績がある。</p>		
4	(特)三保の松原・羽衣村	487,850
<p>『三保の松原・ふるさと資料室設置と運営』 三保の松原の文化意識啓蒙事業の一環として、過去6回、三保の美と歴史を紹介する企画を実施。この企画で使用済み資料や旧清水市役所で不要となった資料をもらい受け、東海大学総合資料センターの一教室をお借りし資料室を設置した。スペース等と常駐スタッフの確保の問題のため積極的PRは控えているが見学希望者は子供たちを中心に着実に増えている。 三保の松原の文化教育の推進、環境保全の理解の推進、地区住民と来訪者の交流を目的に、有償ボランティアによる資料室の3ヶ月程度の定期開館を行なう。来場者は3ヶ月で500人を想定。なお、ボランティアは公募する。 県立美術館主催の企画展「富士山の絵画展」と同時に県美術館内で「描かれた三保の富士展」を開催するなど、県や市との協働事業の実績は多数。法人役員には、学識経験者や観光業界関係者など専門家多数あり。</p>		

平成16年度 協働モデル事業 応募団体一覧表

	団体名	金額
提 案 の 概 要		
5	(特) とこは生涯学習支援センター	250,000
<p>『地域の人々による自発的課題解決のための多様な基盤づくり～モデル地区 栃沢 聖一国師の里』 地域の人々による自発的課題解決のための多様な基盤づくりは「市民ニーズを踏まえる」ことを前提としているので、軽々に市民ニーズ、地域ニーズを想定し、先走った「事業ありき」の方針をとらず、文字や映像を活用しての地域の人々の意見の可視化と自発的な活動を行なうための契機づくりを行なう。 意見の可視化にあたり、実際に足を使ってのアンケート、インターネット上での意見交換(そのためのパソコン等の講習)、インターネットを利用したワークショップの実施などを行なう。 アンケート回収率80%、インターネットへの書き込み20件以上、ワークショップへの参加者10名以上を想定し、最終的には当法人が運営する「たぬき村」と地区住民のコラボレーションにより、中山間地の自立の途を拓く端緒となす事業企画の立案をめざす。</p>		
6	静岡市消費者協会	299,250
<p>『届けるグリーンコンシューマーキッズ講座(グリコンキッズ講座)』 食の安全・安心、ゴミ・地球温暖化などの問題が山積みの中、生活の入り口である「買物」について考え、環境や健康についてきちんと選択できる消費者(グリーンコンシューマー)を増やすことが急務である。学校からの要請で、グリーンコンシューマー講座や「お買物ツアー」体験などを開催するとともに、消費生活展で発表する。 教育委員会との協働で、各学校への呼びかけをしていくとともに、社会科・家庭科・総合教育などの授業での取り入れをお願いする。また、合わせて副読本の作成などもお願いしたい。 7%のグリーンコンシューマーが生まれることで社会が変わると言われている。子供の時からの自立した消費者の育成と、子供を通じた大人(親)の啓発を成果目標としたい。 部課をまたぎ関係5課と協働で行なっているマイバッグデー推進委員会など、多数の協働の実績あり。</p>		
7	ライフコーディネート静岡	300,000
<p>『「市民都市・静岡市」づくりを目指す、いきいき市民活動講座～ひとづくり・ふれあいづくり・まちづくり』 中高年者の就労や社会貢献活動への参加意欲に注目し、活力ある高齢者像と現役多世代間の新たな人間関係を構築、人材や組織、団体と企業等の連携をコーディネートしたり、誕生した新活動のインキュベートを図る。 「ひとづくり」「ふれあいづくり」「まちづくり」をテーマに各1回ずつ計3回の講座と交流会を実施する。講師としては、市内のNPOや生涯学習団体のリーダーを予定。 質問者(参加者)が十分な納得を得ることができる講座をめざす。また、講座参加者同士の協働・連携・パートナーシップ・ネットワークが形成され、新活動への取り組み、新市民活動組織の誕生をめざす。 行政には広報活動面での協力をお願いする。</p>		
8	ナルク静岡	300,000
<p>『孫の手～かゆいところに手が届く』 当団体が推進している時間預託制度「ナルク静岡ちゃばしら」を、子育て支援、介護支援、障害者支援で運用する。各分野の事業所と協働し、インフォーマルな部分でアシスト。手の届かない所のすき間を埋める。この制度を利用することによって、人件費を抑えつつ、現場での人で不足の解消を図る。 当会会員60名で、夏休みの子育て支援(児童クラブ、学童保育、保育園、時間外保育)、障害者・授産施設訪問(イベント・作業手伝い)、老人施設訪問(イベント手伝い、食事介助等)にあたる。 調理師、ガイドヘルパー、栄養士、介護士、看護師、保育士、造園施工管理技師、理容師、美容師、カウンセラーなど多様な世代、人材がいるため幅広いニーズに対応。</p>		